

第2段階における年度ごとの解体撤去物量計画が示されました。また、今後、確実に進めるために、撤去物を保管するスペースの確保が必要と説明を受けました。

3 検査制度の見直しについて

国の検査制度が見直しされ、10月から試運用が開始されます。今後は、事業者の一義的責任を負っていることを明確化し、国は事業者が行う活動全体を監視評価していくことに変わると説明を受けました。

4 H断層系の視察について

H断層系は、海底地すべりにより形成されたと評価されています。また、発電所の敷地内外には9本、敷地前面海域には、海岸線付近から沖合600mの取水塔までの間に5本のH断層系が確認されています。今回は、敷地内にあるH-5断層の露頭と地層がすべったと考えられる痕跡（黒色の薄層、流動的な変形構造）のある敷地深部のボーリングコアを視察しました。



敷地の深部から採取した地層（ボーリングコア）



浜岡原子力発電所敷地内にある H-5 断層の露頭

総合開発計画策定 特別委員会

平成30年9月14日に委員会を開催し、意見書を執行部に提出しました。

1 火葬場整備事業について

平成30年8月6日に建設候補地検討委員会の第3回が開催され、委員からは、「学校、幼稚園などの近くには適さない」「緑がたくさんある、あるいは海が見える自然豊かなところが適している」などの意見が出されたと報告がありました。

また、8月より地区説明会を開催し、各会場合計で314人の参加があり、現時点では、建物の形や建設費についての説明ができない状況でしたが、火葬場建設については、概ね理解をいただいたとの報告がありました。

候補地検討委員会は、市民からの意見を踏まえ、候補地選定のための更なる候補地の絞り込みを進め、市長へ検討結果の報告書を提出することとしています。市は、年度内に候補地の選

定をする予定で進めていますが、委員からは、このままでは、次回開催の検討委員会は、住民説明会の意見報告だけの会議になり、選定までたどり着くことは困難との意見が出されました。あと半年で候補地を決定するために、「速やかに、執行部も一丸となって、場所選定を進め、12月議会定例会には、選定場所の結果を当委員会に報告するよう求める」意見書を提出することとしました。



地区説明会の様子